

知れば知るほど いいね! 軽自動車



コスパが良くて
経済的なのが
いいね!



女性や
高齢者にも
使いやすく
いいね!



みんなの暮らしに
"いいね"があふれる!!

毎日の暮らしに
使いやすさが

いいね!



お仕事の
良きパートナーに

いいね!



 **SUZUKI**

 **SUBARU**

 **DAIHATSU**

TOYOTA

NISSAN

HONDA

 **MAZDA**

 **MITSUBISHI
MOTORS**

jama
Japan Automobile Manufacturers Association

一般社団法人 日本自動車工業会



一般社団法人 全国軽自動車協会連合会



軽自動車が高い支持を集める理由。 それは、すぐれた使いやすさと経済性、環境へのやさしさ。

いまや日本国内で保有されるクルマの約4割を占めるほど、社会にしっかりと根づいている軽自動車。
1949年に規格が制定されて以来、実用性にすぐれた乗り物として日本になくてはならない存在です。

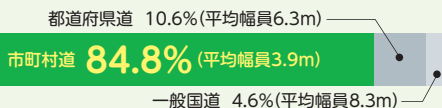
コンパクトだから使いやすい

コンパクトで狭い道も快適!

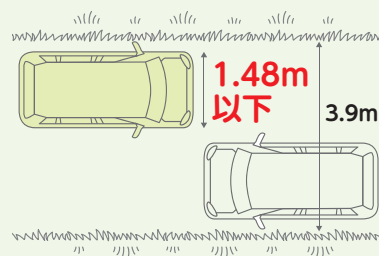
日本の道路の約85%は、道幅平均3.9m*の狭い市町村道。車幅1.48m以下の小さい軽自動車なら、市街地の路地や農道もスムーズに。対向車とのすれ違いも安心です。

※一般道路全体の平均幅員は4.4m

一般道路に占める市町村道の割合



資料:2025年3月31日現在、「道路統計年報2025」国土交通省 ※幅員は車道部のみ



駐車もらくらくスムーズ!

軽自動車の最小回転半径は平均4.5m*。小回りがきくので、わずかなスペースでの駐車もらくにできます。また専有面積約5㎡の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

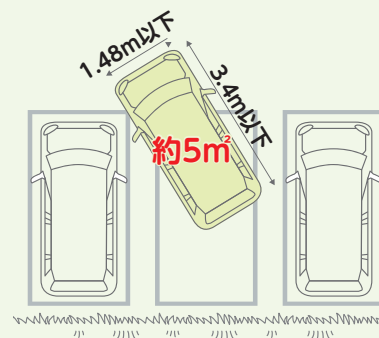
※「自動車ガイドブック vol.72 2025～2026」日本自動車工業会のカタログに記載された軽乗用車の平均値

軽自動車の選択理由

(複数回答)

	運転がしやすい	狭い道で使いやすい	駐車車がしやすい
使いやすい			
軽乗用系	72%	44%	31%
軽キャブバン	45%	35%	16%
軽トラック	47%	40%	31%

資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会



経済的だからうれしい

燃費、価格、税金にメリット

軽自動車の選択理由

経済性

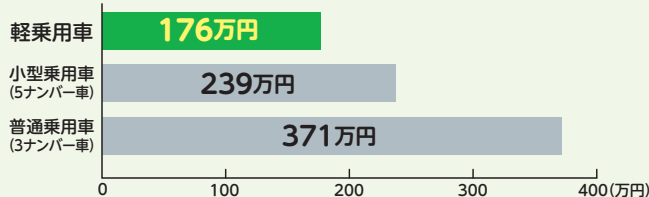
(複数回答)	燃費が良い	価格が安い	税金が安い
軽乗用系	49%	40%	47%
軽キャブバン	40%	52%	34%
軽トラック	21%	40%	41%

資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

購入時の経済的負担が軽い

軽乗用車と小型・普通乗用車の平均価格

家計にやさしい



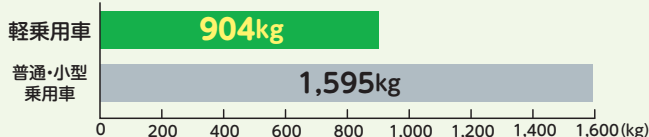
資料:「小売物価統計調査(2025年)」2026年4月総務省
※千円以下は四捨五入 ※普通乗用車は国産品

省資源・省エネルギーに貢献

軽乗用車の重量は 普通・小型乗用車の約6割

小さく軽い車体で排気量もコンパクト!

車両重量



資料:車両重量は「自動車燃費一覧 令和8年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの(国産車のみ)

軽乗用車の道路損傷度は 普通・小型乗用車の約1/10

道路にもやさしく

道路損傷度

	軽乗用車	普通・小型乗用車
車両重量	904kg	1,595kg
重量比	0.57	1
道路損傷度	0.1	1

資料:車両重量は「自動車燃費一覧 令和8年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの(国産車のみ)
※道路損傷度は軸荷重の4乗に比例する(「舗装設計施工指針」日本道路協会)



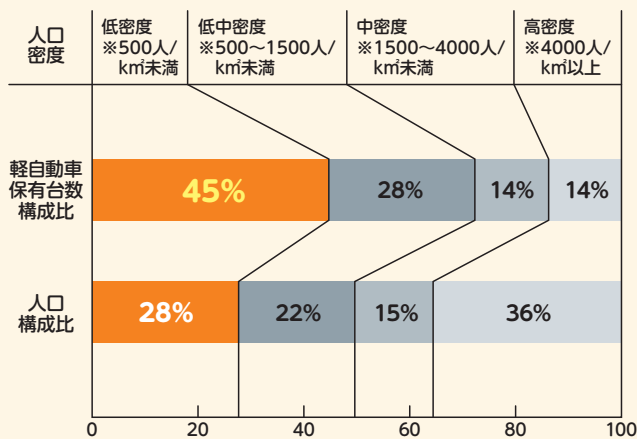
軽自動車を地方で多く見かける理由。 それは、公共交通機関に代わる大切な足だから。

人口構成比が3割に過ぎない人口密度500人/km²未満の市町村で、全国の軽自動車の半数近くが保有されています。
また、軽自動車の普及率は公共交通機関が利用しにくい地域ほど高く、移動手段として不可欠であることがわかります。

地方の大切な移動手段

軽自動車の**約半数**が
低密度地域で保有されている

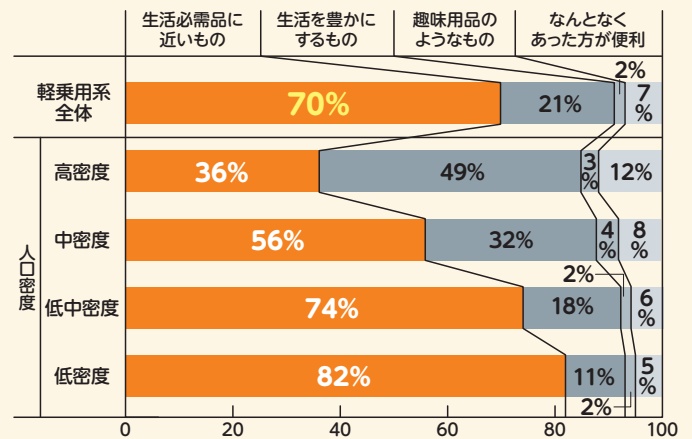
軽自動車保有台数の人口密度別構成比



資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

軽乗用系ユーザーの**70%**が
「軽は生活必需品に近い」と回答

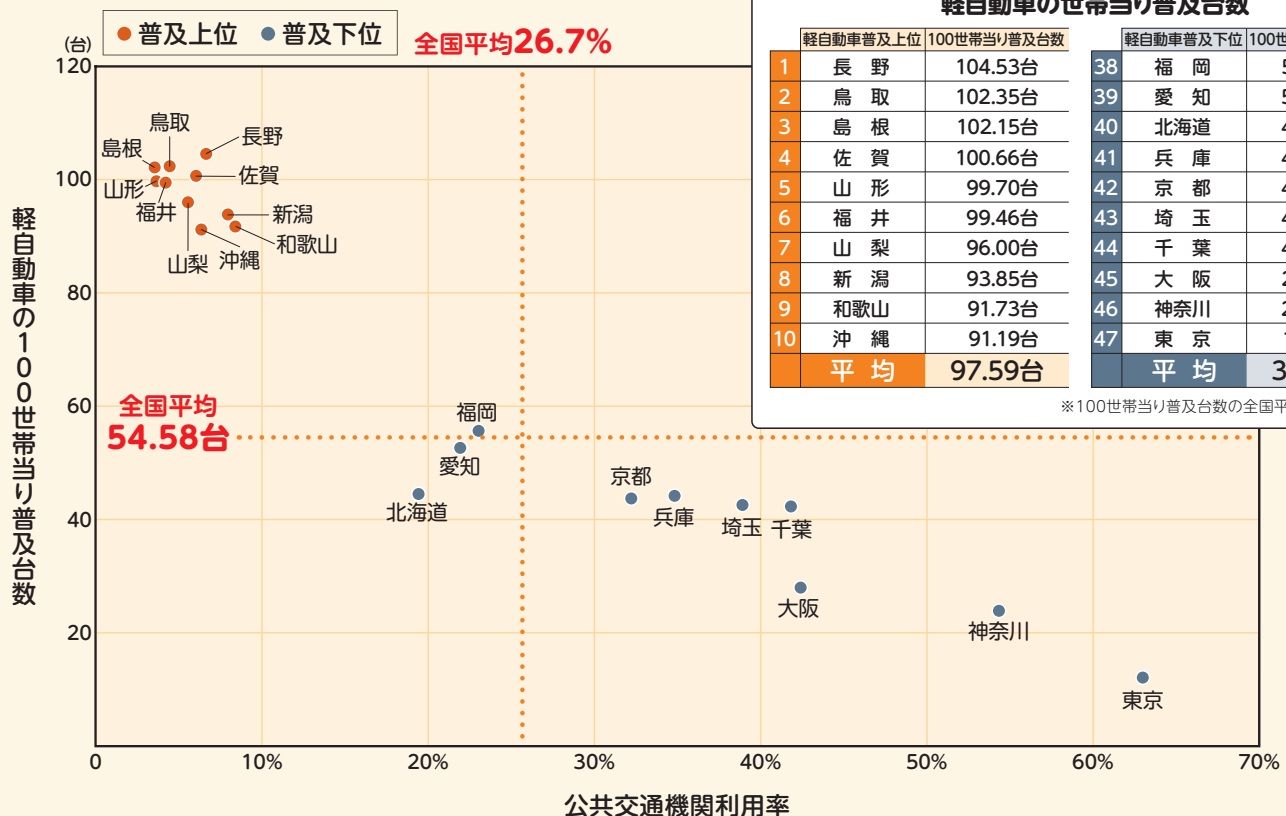
軽自動車の役割



資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

軽自動車の普及率は公共交通機関が利用しにくい地域ほど高い

軽自動車の普及と公共交通機関利用率の関係



資料:100世帯当り普及台数は令和7年12月末現在、全国軽自動車協会連合会調べ
公共交通機関利用率は「令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計」(総務省)を基に算出



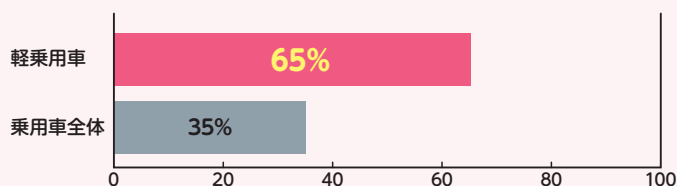
軽自動車をよく利用している人で圧倒的に多いのは女性ユーザー。高齢者からの支持も高い。

女性軽乗用系ユーザーの平均就業率は一般女性と比較して高く、まさに働く女性を助けるクルマと言えます。さらに、高齢者ユーザーが3割を超えており、「買い替えるならつぎも軽自動車」と強く支持されています。

女性にとって頼れる味方

軽乗用車ユーザーのうち
65%は女性

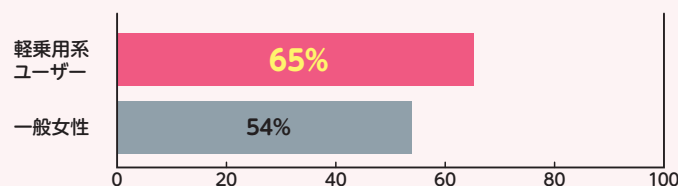
女性ユーザー比率



資料:軽乗用車「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会
乗用車全体「2025年度 乗用車市場動向調査」2026年3月 日本自動車工業会
(乗用車全体には軽乗用車も含む)

女性軽乗用系ユーザーの平均就業率は、
一般女性と比較して高い

女性全体の平均就業率

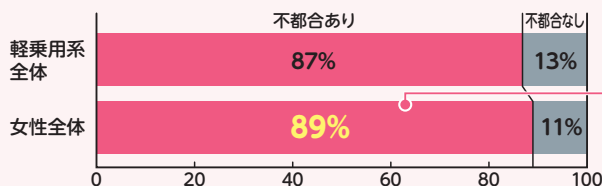


資料:「令和6年 労働力調査年報」総務省統計局
軽乗用車「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

女性軽乗用系ユーザーの**89%**が、普通自動車では「不都合あり」と回答

軽自動車から普通自動車に変えると
生じる不都合の有無

資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」
2026年3月 日本自動車工業会



「不都合あり」理由(複数回答)

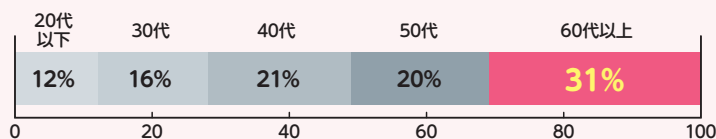
- ・生活費が圧迫される(51%)
- ・経済的な負担が増すので車を持つことができなくなる(44%)
- ・大きい車は運転できない(大きな車は運転しにくい、運転が怖い)(37%)

高齢者からの高い支持

軽乗用系ユーザーのうち**31%**は
60歳以上

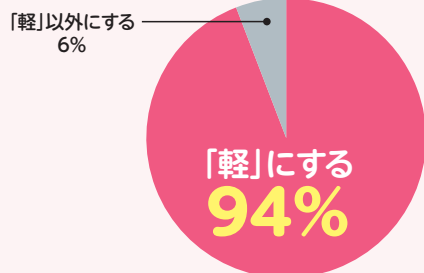
資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

軽乗用系ユーザーの年齢



高齢軽乗用系ユーザーの
94%が「次に関り替える
なら軽」と回答

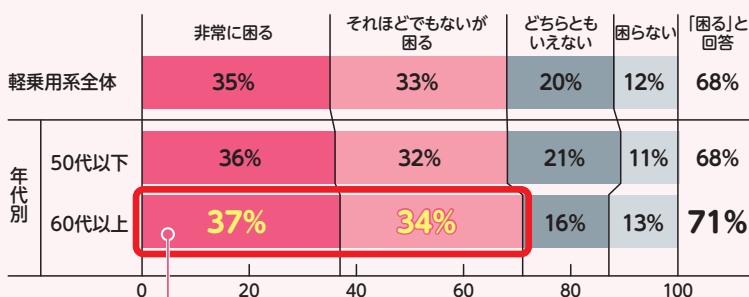
次に関り替いたい車種



資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」
2026年3月 日本自動車工業会

高齢軽乗用系ユーザーの**71%**が、
軽自動車より大きな車では「困る」と回答

軽乗用系ユーザーの軽より大きい車しか使えなくなった場合の困窮度



「困る」理由
(複数回答)

- ・生活費が圧迫される(47%)
- ・経済的な負担が増すので車を持つことができなくなる(40%)
- ・細い道があるなど、道路条件の関係で行けない場所が出てくる(32%)

資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会



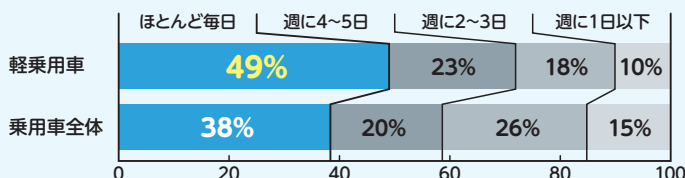
軽自動車は、毎日の買い物はもちろん、通勤・通学、配送業務から農作業でも幅広く活躍。

日常生活から個人商店や町工場、農家での仕事まで、軽自動車はフルワークの良さを発揮しています。
また、軽乗用系ユーザーのうち、約6割が1人でクルマを利用しており、日常のパーソナルカーとしての役割を担っています。

いつでもどこでも手軽に利用

49%のユーザーがほとんど毎日使用

軽乗用車ユーザーの使用頻度



資料:軽乗用車「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会
乗用車全体「2025年度 乗用車市場動向調査」2026年3月 日本自動車工業会(乗用車全体には軽乗用車も含む)

66%のユーザーが1人乗車で利用

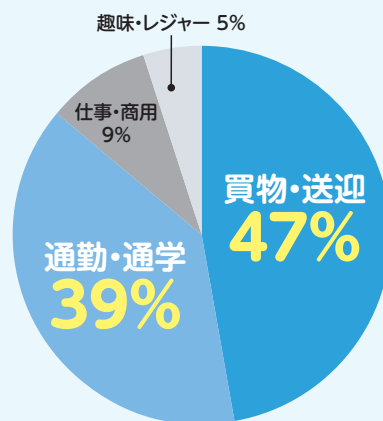
軽乗用系ユーザーの乗車人数



資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

86%のユーザーが「買物・送迎」「通勤・通学」に使用

軽乗用系ユーザーの主な用途



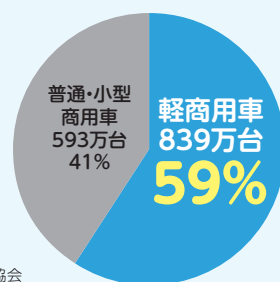
資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

仕事や商売の良きパートナー

全商用車のうち

59%は軽自動車

軽商用車の保有台数比率



資料:2026年3月末現在、
「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会

軽商用車の主な用途

(複数回答)	配達	仕入れ・納入	仕事の道具の運搬	田畑への往復・農作物の運搬
軽キャブバン	12%	15%	22%	8%
軽トラック	14%	18%	35%	42%

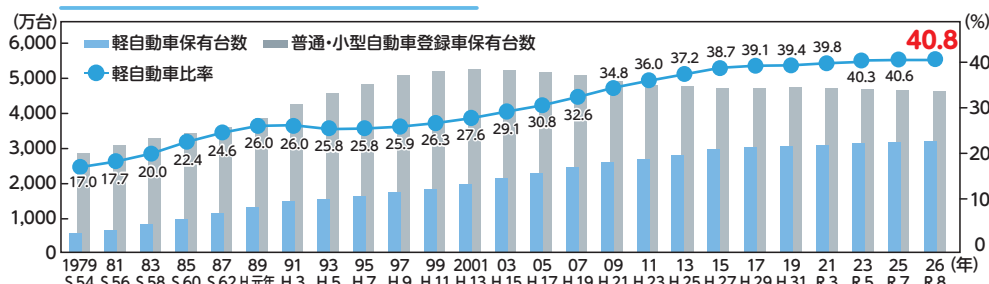
資料:「2025年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2026年3月 日本自動車工業会

毎日の暮らしから、クルマ社会の未来まで。 ますます高まる軽自動車の必要性。

軽自動車の保有台数は3,000万台以上。これは、自動車の総保有台数の約4割を占めることになります。毎日の暮らしや仕事はもちろん、より良い環境づくりやクルマ社会の未来に向けて。軽自動車は、かけがえのない存在として貢献していきます。

資料:各年3月末現在、
「軽三・四輪車および全自動車保有台数の
年別車種別推移」全国軽自動車協会連合会

自動車保有台数・軽自動車比率の推移





軽自動車は地域の活性化に大きく貢献しています。

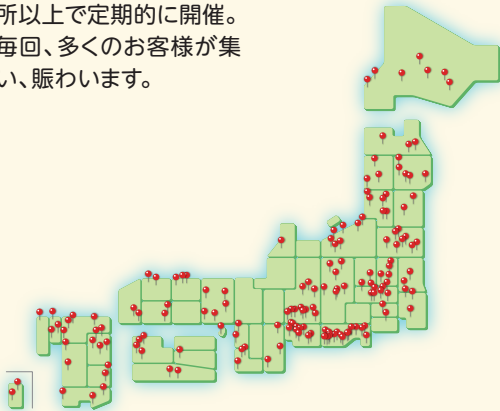
軽トラックの荷台に食料品や地元の特産品、雑貨などの商品を陳列し販売する市、通称「軽トラ市」が全国で開催されています。

軽トラ市は全国で100を超える地域※で開催され、街が賑やかになることで、地元商店の売上の向上や、地域住民の笑顔につながっています。

※日本自動車工業会調べ 2025年6月

全国に広がる「軽トラ市」

「軽トラ市」は全国100か所以上で定期的開催。毎回、多くのお客が集い、賑わいます。



日本三大「軽トラ市」

岩手県

元祖しずくいし軽トラ市



岩手県雫石町

- 開催日：5月～11月(第1日曜※7月のみ第2日曜)
- 主催者：しずくいし軽トラ市実行委員会(雫石商工会)
- 規模：約60台

愛知県

しんしろ軽トラ市のんほいルロット



愛知県新城市

- 開催日：毎月(第4日曜)
- 主催者：のんほいルロット実行委員会(新城市商工会)
- 規模：約75台

宮崎県

「定期朝市」トントロン軽トラ市



宮崎県川南町

- 開催日：毎月(第4日曜)
- 主催者：まちづくりトントロンTMO(川南町商工会)
- 規模：約130台

全国の「軽トラ市」の開催情報は
こちらからご確認いただけます

▶ <https://k-truck.jama.or.jp/>



軽自動車は、さまざまなシーンで活躍しています。

軽自動車は福祉車両としても活躍

コンパクトで運転しやすい軽自動車の福祉車両は、訪問介護や訪問看護の現場でも活躍しています。



軽自動車は災害現場でも活躍

軽自動車は、コンパクトで運転しやすく、狭い道路でも走行しやすいため、多くの災害現場で活躍しています。被災した方の移動を支えるだけでなく、軽トラックなどは災害廃棄物の撤去や移動販売にも活用され、生活の再建に貢献しています。



出典：環境省 災害廃棄物対策フォトチャンネル
(<https://pl-moej.gisservice.jp/arcgis/apps/storymaps/stories/183ffb2fd64046b48a5a1ee8b39de883>)

軽自動車は、普通車と同じ安全基準です。

詳しい情報は
JAMA特設サイトを
ご確認ください



軽自動車の安全基準は、普通車と同じです。進化した軽自動車の安全技術が、運転をサポートします。

軽自動車の安全性と主な安全機能

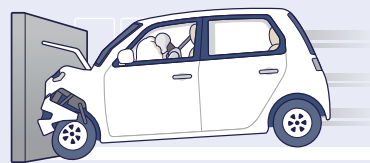
衝突時の被害を軽減！

衝突被害軽減ブレーキによって前方の車・歩行者・自転車を検知し、自動でブレーキがかかることで衝突時の被害を軽減します。



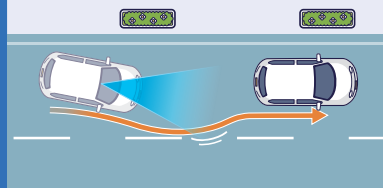
前面衝突時の被害を軽減！

前面衝突試験によって主に衝突時のエネルギー吸収性能やシートベルト・エアバッグによる乗員保護性能を評価しています。



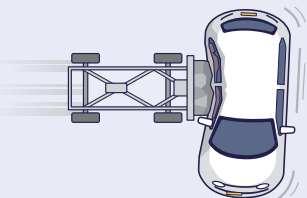
車線逸脱を警告や補正でサポート！

車が車線からはみ出しそうになると、車線逸脱抑制/警報機能により音や振動で警告、自動でハンドルなどの補正でサポートします。



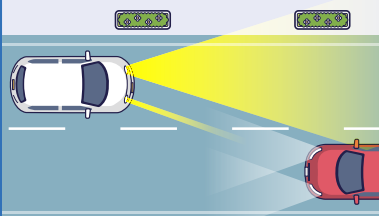
側面衝突時の被害を軽減！

側面衝突試験によって主に衝突時の客室保護性能やシートベルト・エアバッグによる乗員保護性能を評価しています。



夜間運転時の視認性を向上！

高性能前照灯が状況に合わせて照射を自動調整。自身の視認性を確保しつつ対向車の眩しさを抑え、夜間運転時の視認性を向上させます。



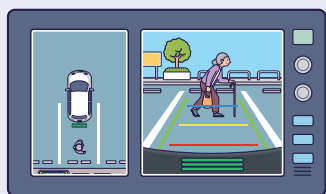
事故や緊急時には通報をサポート！

大きな衝撃を検知すると、自動で事故の場所や衝突情報が通報され、緊急車両の出勤をサポート。また、手動でSOS通報することもできます。



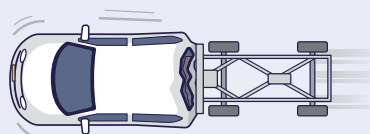
目視しにくい後方の視界をサポート！

カメラあるいはセンサーによって、目視しにくい車の後方にいる歩行者・自転車などを検知し、駐車等の後退時に視界をサポートします。



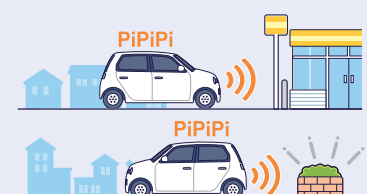
後面衝突時の被害を軽減！

後面衝突試験によって車両火災の原因となる車両からの燃料漏れに対する防止性能等を評価しています。



踏み間違いによる急発進のリスクを軽減！

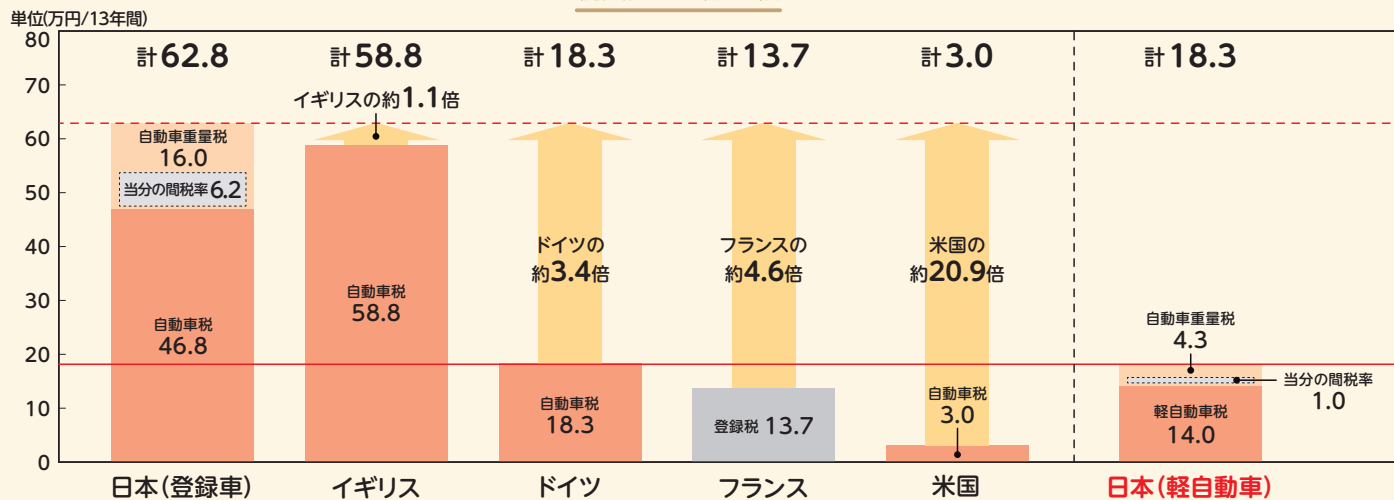
ペダル踏み間違い時加速抑制装置により、前方・後方の障害物に向かって急発進してしまった際の加速を抑制します。



※機能には限界があり、路面状況や天候などの条件によっては正常に作動しない場合があります。
機能を過信することなく、常に安全運転を心掛けてください。
※安全装備の有無や機能の内容・作動条件は、メーカー・車種・グレードにより異なります。
詳しくは各メーカーの店頭スタッフまでお問い合わせいただくか、ホームページやカタログ等でご確認ください。

軽自動車ユーザーの税負担が国際水準です。

税負担の国際比較



前提条件: ①排気量2000cc ②車両重量1.5t以下 ③WLTCモード燃費値 20.2km/ℓ (CO₂排出量115g/km) ④車体価格318万円(軽は162万円) ⑤フランスはパリ、米国はニューヨーク市
 ⑥13年間使用(平均使用年数:自検協データより) ⑦為替レートは1€=¥176、1£=¥206、1\$=¥152(2025/4~2026/3の平均)
 ※2026年4月時点の税体系に基づく試算 ※日本のエコカー減税等の特例措置は考慮せず
 ※自動車固有の税金に加え、以下のとおり付加価値税等も課税される。(日本の場合は消費税、米国・ニューヨーク市の場合は小売売上税)
 日本(登録車)31.8万円、イギリス63.6万円、ドイツ60.4万円、フランス61.6万円、米国28.2万円、日本(軽自動車)16.2万円

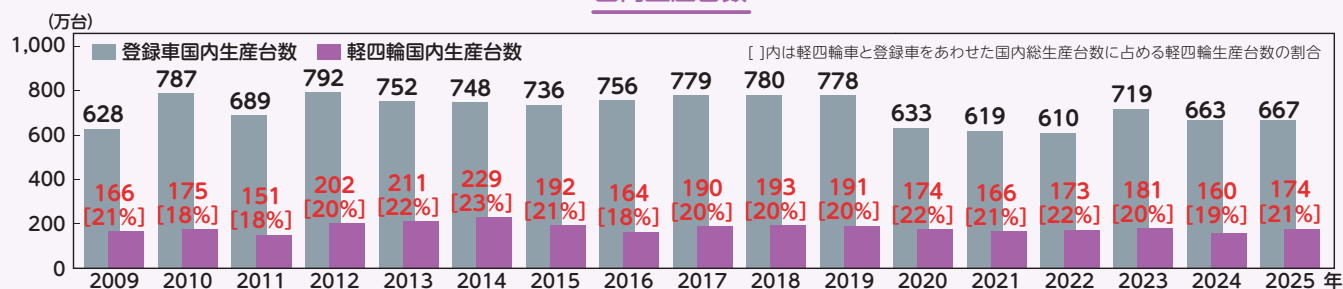
日本自動車工業会調べ

軽自動車は、日本のみならず、海外でも社会に貢献しています。

軽自動車は国内の雇用に貢献

国内メーカーの軽自動車はすべて日本国内で生産されており、国内生産台数の約2割に当たる180万台前後で推移しています。経済の好不況に左右されにくい軽自動車の生産は国内の雇用を安定的に下支えしていると言えます。また、新車販売台数のうち約35%が軽自動車であり、製造関連だけでなく、裾野が広い販売・整備関連の雇用にも大きく貢献しています。

国内生産台数



資料:日本自動車工業会調べ

軽自動車は海外でも活躍

軽自動車の技術をベースとしたクルマはインド、インドネシア、パキスタン、マレーシアなどをはじめとするアジアの市場で大きな存在感を示しています。アジアなどの国々ではまだ高速道路が少なく、狭い道路が多いことに加え、平均所得が低いことから、コンパクトで燃費に優れ、低コスト化を可能にする軽自動車の技術が、海外でのモータリゼーションの発展に大きく貢献しています。



発行

一般社団法人 日本自動車工業会 軽自動車委員会
 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

【参考】

本冊子では、原則として軽自動車を次のように分類しています。
 ・軽乗用系: 軽乗用車(軽キャブワゴンを含む)、軽ボンバン
 ・軽商用系: 軽キャブバン、軽トラック

【留意点】

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

2026年9月